

技術開発事例

受託研究

人の重なりにもロバストなカメラ画像情報を用いた人物追跡システムの開発

【受託研究先】

システム・プロダクト株式会社

【開発の背景】

平成 20 年度 受託研究にて当センターが開発支援した「不審者検出システム」が製品化になりました。しかしながら、監視カメラからの画像中において人と人との重なりが発生する状況下では、個々の人物の画像領域の切り分けがうまくいかず、人物追跡が難しくなる場合があったため利用者から改善して欲しいとの声がありました。この要望に応えるため、人の重なりが発生する場合での人物の切り分けが可能な画像処理システムの開発を行うことになりました。

【開発の経緯・支援内容】

人の重なりが発生しうる時系列カメラ画像を対象として、画像上の「人」を識別しその位置を追跡可能なアルゴリズムの開発を行っています。対象企業が、画像上の「人」を識別するアルゴリズムの開発を行い、当センターでは、人と人の重なりや、物陰に隠れて見えなくなる部分があっても、その「人」を追跡し続けることができるアルゴリズムの開発を担当しています。

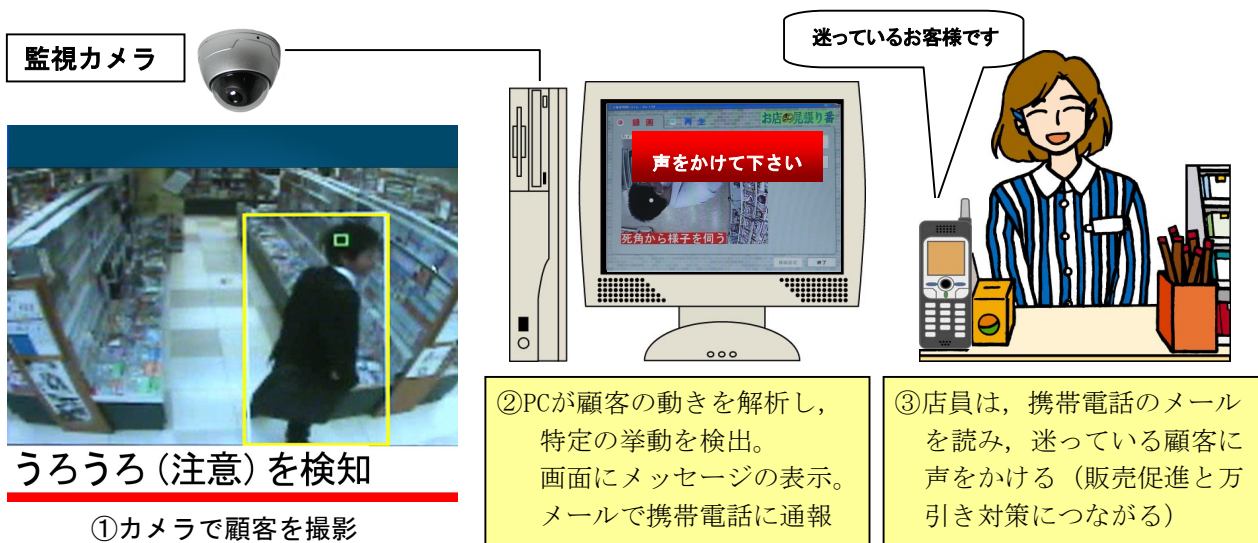


人と人が重なっている
防犯カメラ
画像



人が物陰に
隠れている
防犯カメラ
画像

開発中のアルゴリズムは、現在、販売されている「不審者検出システム」に組み込むことにより、検出や追跡などの性能が向上し、より精度の高いセキュリティシステムとして、犯罪の発生を未然に防ぐことや困っているお客様へのサービス向上に貢献します。



基礎となった事業

平成 22 年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

担当部門

技術融合部門

技 師

中川 健司

tel : 029-293-7482

主 任

青木 邦知